



小野新町小学校だより



【教育目標】
自ら学び
心豊かで
たくましい子ども

平成29年8月24日
小野新町小学校
発行責任者
校長 有賀 仁一

それぞれの夏休み！

合唱部・吹奏楽部・陸上部、 夏休み返上の練習！

～ 夢や希望の実現、充実した成長に向けて！～

24日（木）に田村市文化センターで田村地区音楽祭、9月2・3日（土・日）に喜多方プラザ文化センターで、TBC・TUF こども音楽コンクールが開催されます。これらの大会出場にむけて、合唱部・吹奏楽部の子どもたちは、夏休み35日間の約半分17日間の練習に取り組みました。各担当教員の指導の他に、合唱部は元本校教諭でかつて東北大会出場に導いた佐久間敦子先生、吹奏楽部は本校卒業生で吹奏楽を現役バリバリでやっている高校生等が指導に入ってくださいました。これまで以上に、充実した練習になったようです。

27日（日）には、開成山陸上競技場で県小学生リレーカーニバル大会が開催されます。リレー・長距離・幅跳びの各種目に本校からは26名が出場します。朝の涼しい時間を利用してながらも大粒の汗をかいて練習に取り組んでいました。

小野新町小学校のよさのひとつに、「子どもたちが活動できるより多くの場がある」が挙げられます。これからも、小学生時代だからこそできる様々な経験や体験の場の充実を図っていききたいと思います。いずれ、夏休みの子どもたちのがんばりに拍手です！



地域の行事に積極的に関わる子どもたち！

～ たかむら音頭での小太鼓のたたき手として！～

15日（火）本校を会場に開催された「おのまち夏まつり」。今年は、朝からあいにくの雨に見舞われ、体育館での開催となりましたが、多くの皆様が集まり盛大に開催されました。

この中、たかむら音頭で本校の子どもたちが小太鼓のたたき手として大活躍しました。希望する3年生から6年生までの子どもたちが、6月下旬から毎週火曜日の夜に、町多目的研修集会施設で練習してきた成果を見事に発揮していました。

学校教育だけでなく、地域の行事等に関わるなどの多くの経験をして、子どもたちは多くを学び、成長していきます。文科省も今「社会に開かれた教育課程」と銘打って地域とともに育む学校教育の展開を求めています。今後さらに、地域の皆様との関わりを交えた教育活動を企図していきたいと考えております。その際は、どうぞご支援ご協力をいただければ幸いです。よろしくお祈りします。



岩石園前と体育館前が飾装されたお陰で！

第37回小野町小学校水泳記録会 第34回小野町小学生水泳大会

～ 多くの入賞者と“記録更新”！～

7月25日（火）B&G海洋センターで開催された標記大会で、本校の子どもたちが大活躍しました。主な結果については、広報「おのまち8月号」に掲載されましたので、既にご覧になっていらっしゃると思います。多くの入賞者数もですが、**5年男子50M自由形での宗像劉成君の大会新記録**をはじめ、自己記録を更新した子どもたちがたいへん多かったということにも大きな成果のあった大会でした。



多くの皆様の、多くの善意に感謝！

～ 集まった使用済切手をお渡ししました！～

1学期中に皆様からお寄せいただいた使用済切手を7月25日（火）に、法務省保護局田村地区保護司会の荒井テルさんに、担当の安田あゆみ教諭から手渡しました。

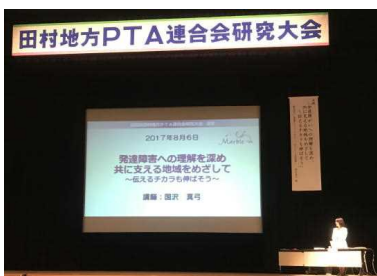
これは、海外への保健医療協力や現地医療スタッフの育成等に役立てられています。本校は、長年この取り組みに協力しているということで、たいへん感謝されていました。今後ともよろしくお願ひします。

先生方は“研修”で充電！

～ 教員としての資質・指導力向上のために！～

7月27日（木）町勤労青少年ホーム小ホールに、町内全小中学校の教員が参集して、兵庫教育大学大学院 教授 日渡円先生の講演を伺いました。演題は「**新学習指導要領と学力向上**」、文科省の諮問機関である中央教育審議会の委員も務められている方で、国が進めようとしている教育政策の背景や意図等をはじめ、宮崎県五ヶ瀬町教育長時代の取り組みや、現在全国の教育長や校長の研修を担当し指導している経験等をふまえた多くの示唆に富んだお話を聴かせていただくことができました。

夏休み期間中、教員それぞれが公私にわたり様々な研修会や研究会に参加し、研鑽を深めています。こうした取り組みの成果が、子どもたちへの指導に反映されることを期待しています。



P T A は“研究大会”で！

～ 「子と親とが共に育つP T A活動を～未来を担う子どもたちのために～」～

6日（日）田村市文化センターで、平成29年度の田村地方P T A 連合会研究大会が開催され、本校役員の皆様と共に参加して参りました。大会主題は標記のとおりで、今年度は浮金小P T Aの他4つの発表があり、県教育庁県中教育事務所の総務社会教育課 齊藤俊明 社会教育主事の指導助言を含め、たいへん参考になる内容でした。

講演は、元NHKアナウンサーで、現在、三鷹市で「発達障がいサポート Marble」の代表理事を務める国沢真弓氏の「**発達障がいへの理解を深め、共に支える地域をめざして～伝える力も伸ばそう～**」でした。ご自身、発達障がいをもつお子さんを持ち、その現実を受入ながら、その子の発達課題を理解した支援をしていくことの大切さについて、経験・実践をふまえ、具体的にお話しくださいました。より多くのP T Aの皆様にお聞かせしたい充実した内容でした。

学習環境がさらに充実！

～ 児童用イスやタブレット、
岩石園・体育館前の舗装等～

高学年に続き3・4年生全員のイス、支援学級の給食用テーブルとイスが新調されました。さらには、学習用タブレットも2台導入されました。



舗装工事によって、雨天時におけるスクールバス乗降の安全確保がよりしやすくなりました。